

2010MHC 登山講習 花の八ヶ岳縦走登山ー赤岳・阿弥陀岳縦走

6月26日 AM6:00、3台の車に乗り合わせ、梅雨空の松本を出発。高速道を走り、山麓を登り、最終美濃戸に到着。全員雨具を着用し、AM8:00 登山を開始する。総勢は16名、小雨の中、林道を歩き、北沢溪流沿いを進む。登山道脇には、スマレ、シロバナヘビイチゴの花々が咲く。2時間程で赤岳鉱泉を經由し AM11:00 行者小屋に到着。ここで大休止し、昼食を摂る。



シロバナヘビイチゴの群落



北沢溪流沿いを進む



野生カモシカに会う



主峰 赤岳 2899m

AM11:40 行者小屋を出発、霧に見え隠れする主峰赤岳を右に見ながら、急坂の地蔵尾根を登る。足元には、紅色のコイワカガミが咲き競い、山桜も満開だ。急斜面に取り付けられた階段、鎖を頼りに、赤茶けた岩場を登り詰めると、PM1:00 涼風吹く霧の主稜線に登り出る。

稜線上に建つ赤岳展望荘で小休止、周辺にはウルップソウ、オヤマノエンドウ、白花のハクサンイチゲ、イワウメ、チョウノスケソウなどが咲き競い、山頂へ向う稜線に、キバナシャクナゲが風に揺れている。



鎖を頼りに、急峻な岩場を攀る



赤岳山頂に見事登頂



シャクナゲ

ウルップソウ

オヤマノエンドウ

鎖を頼りに、最後の力を出し切るように急峻な岩場を攀り、しばらく稜線を辿ると、PM2:00 三角点の立つ山頂 2899mに見事登頂する。「バンザーイ！」握手を交わすと、全員の顔がほころぶ。残念なことに、山頂は濃い濃霧の為視界が全く効かない為、15分程で山頂を後にし、近くの頂上小屋に戻り泊す。

翌27日小雨模様。AM6:30 出発。再び赤岳山頂を通過し、取り付けられたハシゴ、鎖を使って、切り立った岩場を滑らぬように慎重に下山する。30分程で危険箇所を通過し、文三郎尾根との分岐を右に見て、中岳を登り降りし、AM7:30 阿弥陀岳との鞍部に到着する。



ハクサンイチゲ



急峻な岩場の登攀が連続



阿弥陀岳山頂に登頂「ヤッター！」



阿弥陀岳 2805m

相変わらず霧雨状況の中、ここから軽荷で阿弥陀岳へ向う事とする。登り初めから急峻な岩場の登攀が連続する。AM8:15 全員見事登頂。「ヤッター！」視界が効かない為、記念撮影後は、早速に下山開始、AM9:00 鞍部に引き返す。態勢を整え、低木帯から林の中を降り続け、行者小屋を經由して、AM11:00 赤岳鉱泉到着。ここで昼食を摂り、往路と同じ北沢ルートを経て、PM1:45 車の待つ美濃戸到着。PM2:00 美濃戸バス停を經由して、PM3:00 過ぎ松本に到着。最終解散とした。

「雨中登山でも、登頂の喜びと、岩場に咲く花々のみずみずしさに感動を残す」登山だった。